

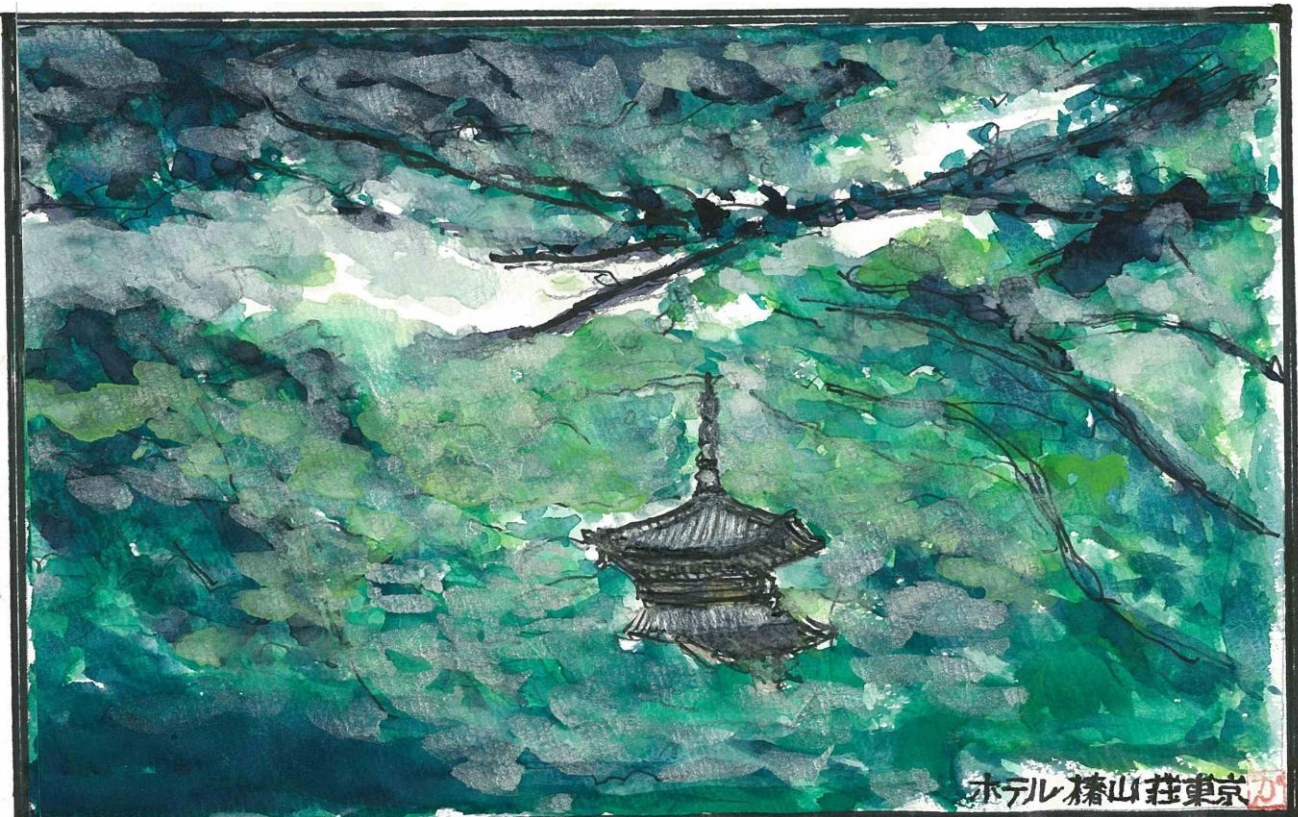
会報 山口七夕会

令和8年(2026年)6月

第60号

発行：会報編集委員会／事務局

題字／書・原野和夫氏



ひととき、日々の喧騒を離れて。

画：山根 和也 氏（会員NO. 39）

3月28日の「春の桜ウォーキング」で訪れた、山縣有朋 公ゆかりの椿山荘。

明治の元勳 山縣有朋 公が明治11年に居を構えたことから始まる。造園感覚は山縣公の郷里である萩にあると推測され、萩の地形が造園構成と共通している。また、絵にある三重塔は、東京大空襲による災禍を免れて現存する。（椿山荘HPより）

ウォーキングの様子は本文をお読みください。

< 目 次 >

会長代行挨拶	3
【追悼】山口市長 伊藤 和貴 様	4
【追悼】山口市議会議長 伊藤 斉 様	4
【追悼】本部・本部長 藤井 謙志	5
【追悼】ふるさと山口本部・本部長 申神 正子	5
【追悼】顧問(前会長) 八木 重二郎	7
【追悼】顧問 渡邊 史信	8
【追悼】本部・副本部長 岡本 達也	10
『追悼と豊かさを求めて』	11
山口がインバウンド誘客に本気を出すべき4つの理由	12
再びつながった山口とのご縁2～思い出～	15
ストリートピアノとのコラボイベント	16
吉田未加さんLiveに行ってきました！	17
春の桜ウォーキング 2026	18
新入会員及び法人会員の皆さん	20
イベント等のお知らせ	21
<山口市役所より>「山口デスティネーションキャンペーン(DC)」の開催について	22
投稿募集／役員募集／公開名簿掲載承諾のお願い	23
メールアドレス登録のお願い／事務局からのご案内／編集後記	24

※会報は山口七夕会のHPにもアップします。HPでカラー版をお楽しみください。

会長代行挨拶



山口七夕会の皆さまにおかれましては、初夏の気配が深まる今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。日頃より会の活動に温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。このたび、秋草会長のご逝去を受け、会長代行を務めることとなりました。偉大な先達や秋草会長が大切にしてくられた思いを胸に、微力ながら務めを果たしてまいる所存です。

私自身、今から十三年前、山口市に本社を置く企業の代表として地域に関わる機会をいただき、微力ながら市政や地域の発展に寄与してまいりました。また当時、山口ロータリークラブや山口商工会議所において役職を拝命し、地域の皆さまと共に歩む貴重な経験を重ねてまいりました。これらのご縁と学びは、今も私の心に深く刻まれており、山口七夕会の活動を通じて山口市へのご恩返しを果たしたいという思いにつながっております。

秋草会長は、山口の地に根ざした文化と人のつながりを何より尊び、七夕会を「世代を超えて心を寄せ合う場」として育ててこられました。会長の温かなまなざしと、会員一人ひとりを大切にされる姿勢は、私たちにとって揺るぎない支えであり、会の歩みそのものを形づくってきたと言っても過言ではありません。そのご功績に改めて深く敬意を表するとともに、会長が遺された理念をしっかりと受け継いでいくことを、ここにお誓い申し上げます。

本年度は、これまでの活動を振り返り、これからの取り組みをより充実させていくための大切な節目でもあります。会員の皆さまが安心して参加でき、互いに励まし合い、笑顔を分かち合える場を守り育てていくために、役員一同、力を合わせてまいります。また、地域とのつながりをさらに深め、山口の魅力を次世代へとつなぐ活動にも、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願ひいたします。

令和8年（2026年）6月

山口七夕会 会長代行 藤井 謙志

【追悼】

秋草史幸様のご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。

秋草様におかれましては、令和3年より山口七夕会の3代目会長として、その温かいお人柄と卓越したリーダーシップをもって会をお導きいただきました。会においては常に人の和を大切にされ、会員の皆様と故郷山口市との懸け橋として、山口七夕会並びに本市の発展に多大なるご貢献を賜りました。歴史と未来を見据えた含蓄あるお話は会員の皆様の心を一つにし、時にユーモアを交えた語り口は場の雰囲気や和やかに包み、皆を自然と笑顔にしてくださいました。

私には、とりわけ忘れがたい思い出がございます。令和5年、山口市が米ニューヨーク・タイムズ紙に選出される直前のことでした。秋草様から「七夕会の総会で、大内文化について講演せよ」とのお題を賜りました。そうしたところ、後に、大内文化を中心とした本市が世界中から注目いただくこととなり、さらには「地球の歩き方山口市」発刊につながった事実、改めて秋草様のご慧眼に深く感服いたしました。先見の明をもって時代の本質を静かに見据え、真に大切なものへと導いてくださるそのお姿は、深い教えとして私の心に刻まれております。

秋草様が築かれた絆と志は、これからも山口七夕会の確かな礎として受け継がれていくことと存じます。在りし日のお姿を偲びつつ、ご功績に対し深甚なる敬意と感謝を申し上げますとともに、哀心よりご冥福をお祈り申し上げます。

山口市長 伊藤 和貴

秋草史幸様のご逝去に際し、謹んで哀悼の意を表します。

秋草様におかれましては、令和3年10月に山口七夕会の会長に就任されて以来、首都圏と山口市を結ぶ架け橋として、故郷山口の発展と会の活動の充実に尽力されました。誰に対しても変わらぬ優しさで接し、相手の思いに静かに耳を傾けながら会を温かく導いてこられたそのお姿は、多くの会員にとって心強い存在であり、会の活動に穏やかな一体感をもたらされたことと思います。

また、山口七夕会の会則にございます「郷土山口の発展に寄与する」という目標に向け、会員相互の交流促進にも力を注がれました。こうした取組により、山口七夕会の活動は秋草様のもとで確かな広がりを見せました。

秋草様の情熱と行動力、そして故郷山口への深い愛情は、これからも会員の皆様の活動の中で生き続けることでしょう。その歩みは真心と温かなまなざしに満ち、会員の皆様に安心と勇気を与え、未来へと受け継がれていくに違いありません。

その尊いご功績と誠実なお人柄に心から敬意を捧げ、これまでのご尽力に深く感謝申し上げますとともに、安らかなるご冥福を謹んでお祈りいたします。

山口市議会議長 伊藤 斉

【追悼】

本部・本部長 藤井 謙志

山口七夕会秋草会長のご逝去の報に接し、深い悲しみと大きな喪失感に包まれております。長年にわたり会長として私たちを導いてくださった秋草さんは、常に穏やかな笑顔と揺るぎない信念をもって、七夕会の発展に尽力されました。そのお姿は、私たち会員一同にとって道標であり、励ましであり、そして何よりも誇りでございました。

秋草会長は、山口の地に根ざした文化と人のつながりを何より大切にされ、七夕会を「世代を超えて心を寄せ合う場」として育ててこられました。会の運営にご苦労される姿、会員一人ひとりに温かく声をかけてくださる姿、そして会の未来を語る時に見せられたあの力強い眼差しは、今も鮮明に胸に刻まれております。会長の思いがあったからこそ、私たちは今日まで活動を続け、多くの笑顔と出会いを生み出すことができました。

副会長として間近でご一緒する中で、秋草会長の人柄の深さ、判断の確かさ、そして地域への揺るぎない愛情を幾度も目の当たりにいたしました。決して声高に語る方ではありませんでしたが、その一言一言には重みがあり、私たちを自然と前へと進ませる力がありました。会長の存在は、七夕会にとって欠かすことのできない大黒柱であり、その喪失は計り知れません。

秋草会長が遺してくださった理念と温かなまなざしは、これからも私たちの中で生き続けます。会長が築かれた土台を守り、さらに発展させていくことこそが、残された私たちの務めであり、最大のご恩返しであると強く感じております。

秋草会長、長きにわたるご指導とご厚情に心より感謝申し上げます。どうか安らかにお休みください。会長の志を胸に、私たちはこれからも歩みを進めてまいります。

ふるさと山口本部・本部長 申神 正子

「よっ！お久しぶり、お疲れ様！」とお帽子片手に、にこやかに山口市にお帰りいただけるのではないかと感じてしまうほど、いまだに現実として受け入れることが出来ずにいます。

ご病気が発覚してからも、常に前向きでおられ、ご自分の病状を把握、主治医とご相談のうえ、治療薬を選択。そして、「どうもね、抗がん剤がよく効いていて、体調よくてね！」と仰っておられました。年明けてからも、2月にはLINEで3月23日の山口来訪について、タイムスケジュール、ふるさと山口本部役員との会食の予定など、相談申し上げていたところでした。本当に、急な秋草会長のご訃報に接し、驚きを隠せません。



秋草会長は、実に紳士的で、優しく、そしてユーモアのある方でした。私が山口七夕会ふるさと山口本部の本部長の大役を仰せつかった際にも「申神さん、楽しい会にしようよ、山口市が大好きな会にしよう、簡素であり、そしてわかりやすく、あたたかい会にね」と、緊張する私に笑顔でお声がけくださいました。さらには、人事で頭を悩ませていた際にも、問題点を的確に見抜いておられ、そして思慮深くアドバイスいただ

きました。「僕あね、たくさん謝ってきたんだよ、問題がおこったらどうやったら人心の怒りを鎮め、四方収まるようにもっていくことができるかを、いやと言うほど体験してきたからね。」と話されながら、右手の手のひらを額に当て、「煮詰まってきたらね、こうやっておどけて、とぼけてみせて、しまった、しまった、こりゃ、思い違いをしていたよ、もう一度よく説明してみてるか、と、相手の言い分を丁寧に聞いてごらん」と指南してくださいました。未熟ながらもふるさと山口本部長職を継続できたのは、会長の懐の深さと、あふれる愛情のおかげであったと信じております。



私が学会で東京入りした際には「一緒に呑もうか！」とお誘いもいただき、二人きりでデートしたこともございました。(藤井東京本部長が急遽参加できなくなったときですが)2024年9月11日のことです。六本木のお洒落なレストラン。山口市ではレディーファーストの扱いを誰からも受けたことがないのですが、会長は常にレディーファースト。そして、会話が途切れることなく、楽しく、時に笑いもあふれる時間を作ってくださいました。そうそう、「申神さんはビールが好きじゃのう、ビール瓶のサイズはなぜ633mlなのか、知ってるかい？戦争と酒税法とビール瓶のサイズは関係が深くてね・・・」と、ビールからも話が膨らんでいきました。

昨年3月19日には山口ご来訪。旧市役所庁舎にて最後のご会談となりました。夜にはセントコアホテルにて伊藤市長、入江議長、ちひろさんも交え懇親会を賑やかに行いました。闘病中とは思えないほどのお元気さで、笑い溢れるお時間をくださいました。秋草会長は博識のジェントルマン、そしてお茶目な方であり、理想の人間像でございました。

きっと、星の彼方で「山口七夕会」をにこやかに見守ってくださっていると信じております。歴史の町、山口市をこよなく愛し、育ててくださいました秋草会長に深く感謝申し上げます。



【追悼】

追悼の言葉

秋草さん、3月のはじめ貴方が亡くなられたとの報に接した時は、本当に驚きました。残念でなりません。昨年6月には公益法人防長教育会の理事長に就任され、7月の七夕会の総会でもお元気なお姿を拝見していたため、すっかり良くなられたものと思っておりました。心から、哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

思い出しますと、貴方に最初にお会いしたのは、野村先輩の紹介によるものでした。三菱銀行の常務から証券会社の社長に転じられ、金融証券業界の切れ者として、颯爽として、郷土の奨学生支援団体である（財）防長教育会のお手伝いをされておられた姿が忘れられません。その後お付き合いを重ねるにつれ、山口弁を交えての少年時代の思い出など、貴方の人柄の違った側面にも触れ、そのすばらしさに魅了されました。

後任会長探しで困っていた私のお願いにも、心よく応じ、お引き受けいただき本当にありがとうございました。

いま振り返ってみますと、残念なことは、あなたが一時期体調を崩しておられた時に依頼を受けた「貴方の後任の会長候補」を直接貴方にお伝えすることができなかったことです。私も怠っていたわけではなく、東京山高同総会や防長倶楽部の人たちに網をかけていたのですが、昨年6月、7月の貴方のお元気な姿に接し、つい気が緩み、遅れてしまいました。お許してください。代わりに本日、副会長はじめ執行部の人たちに「貴方の後任」に相応しい会長候補を紹介させていただきます。

秋草さん、貴方は山口市が生んだ金融界の俊英というだけでなく、防長教育会を通じて若き奨学生の育成、山口七夕会での「ふるさと山口市」への貢献など、かずかずの素晴らしい功績を残されました。山口出身者の誇りであります。本当にありがとうございました。心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

令和8年4月18日 感謝をこめて、八木重二郎

※本文は、本部幹事役員会での発言を八木氏の許可を得て掲載しました。

【追悼】

故秋草史幸氏のご逝去を悼む

顧問 渡邊 史信 (会員No.364)

去る3月2日に当会会長秋草史幸氏が、薬石効なく享年76歳で永眠されました。ここに謹んで哀悼の意を表すると共に、氏と私の35年にわたる交流の一端を記す事で氏のお人柄を偲ぶ縁(よすが)になればと思います。

氏のご逝去の一報は七夕会の中で私が最初に受取り、関係先に悲しみと共にお伝え致しました。たまたま山口本部では3月7日に酎祭が開催され、市長・議長をはじめ約100名の出席者の方々に冒頭私から氏のご逝去をお伝えするとともに、哀悼の誠を黙祷によって捧げることができました。

(↓は当日会場に映した氏の略歴等です)

秋草史幸会長ご逝去

2026年3月2日ご逝去(享年76歳)



略歴

1949年(昭和24年)10月9日山口市生
1968年 山大付属小・中卒業、山口高校卒業
1972年 東京大学法学部卒業。三菱銀行入行
1975年～1976年 ドイツ・ルール大学留学
2003年 東京三菱銀行 常務
2008年～2011年 三菱UFJ証券㈱取締役社長
三菱UFJ証券ホールディングス㈱名誉顧問

2021年10月9日 山口七夕会三代目会長就任

その他 公益財団法人 防長教育会 理事長
ドイツ デュッセルドルフ日本人男声合唱団
日本支部合唱団 団員

私と氏との関係はかれこれ35年前に遡ります。私は1988年にドイツ/デュッセルドルフに駐在員として赴任いたしました。ご記憶の方も多くいらっしゃる事と思いますが、当時の欧州は正に歴史上の激動・大変換の時期でもありました。

1991年1月の湾岸戦争開始で、テロ対策として禁足令が出て、出張の出来ない駐在員は電話だけでは如何ともしがたく(その当時はまだ PC はない時代です)、私は伝手やカラオケ店で仲間を募り、趣味の男声合唱団を創設しました。三菱銀行デュッセルドルフ支店長の氏とはその時に知り合い、二人とも山口弁が抜けず又中学・高校の先輩後輩という事もあり、長い長い親しいお付き合いが始まりました。合唱団はこの間、練習と懇親を重ね、ドイツ各地での演奏会を開催しました。10・15・20・25各周年記念演奏会をデュッセルドルフで開催し、OB 合唱団も日本で演奏会やコンクールに出場し、継続して活動しています。氏は練習には体調の良い時は参加され、その後の懇親会も楽しみにされ、私も上京の際に練習日があれば参加してお会いしていました。氏は

大変博学であり、又ドイツ語は話し・読み・書く事も秀逸で、ドイツ曲の詩の解釈や背景説明等大変貢献されました。今年10月末にデュッセルドルフで開催される35周年記念演奏会にお元気ならば一緒に参加されたであろう事を思うと誠に残念です。ご参考までに、その当時の欧州を中心とした歴史的な事象を記します。

欧州及び日本他の主な出来事 (渡邊欧州駐在88.4-95.6ドイツ・スペイン/ 99.6-05.6スペイン) [作成/渡邊]			(当事首相)
1986	1.1	スペイン/ポルトガルEC加盟	中曽根
1986	4.26	チェルノブイリ原発事故	
1988-91		東欧革命	竹下
1989	1.7	昭和天皇崩御、平成へ、消費税実施、(6.4)天安門事件	
1989	11.9	ベルリンの壁開放⇒冷戦終結	海部
1990	10.3	東ドイツ自壊・統一ドイツ成立、	
1991	1.17	湾岸戦争開始	
1991	12.8	ソ連崩壊・ゴルバチョフ大統領辞任	宮澤
1993	11.1	マーストリヒト条約発効、EU発足	細川
1996		BSE(狂牛病) 社会問題化	橋本
1999	1.1	単一通貨EURO導入	小淵
2001	9.11	アメリカ同時多発テロ	小泉
2002	1.1	EURO紙幣・硬貨流通開始(当初11か国の法定通貨)	
2004	3.11	マドリッド列車爆破テロ	

明るい性格で初対面での打ち解けの速さや話術は学ぶことが多い畏敬すべき存在でした。仕事ではバンカーとして大成され、一方では様々なご苦勞も経験され、たまに見る厳しい顔からその一面を感じた次第です。まだまだ氏のご聲咳に接し足りなく、残念で仕方ありません。

七夕会には2016年に私がしつこく誘い入会していただきましたが、氏はイベント等の参加は殆どされませんでした。2021年に八木重二郎2代目会長のご勇退に当たり、八木さんと私の説得により会長立候補を引き受けて頂き、総会にて第3代目会長に就任して頂きました。後半は体調を崩され思うような行動ができない時期もありましたが、ご逝去の僅か10日前には「3月23日に山口に行くので山口本部の役員と会いたい」との連絡を受け、私共も楽しみにしていました。この夏の総会で選任される新会長が、七夕会の「変えずに守るべきものは何か」を見極めながら、新たな航路への舵取りをされる事を期待いたします。山口市及び当会の更なる発展状況を氏にいずれご報告したいと思っています。ご冥福を心よりお祈り致します。合掌。

【追悼】

秋草会長を偲んで

本部・副本部長 岡本 達也（会員No.670）

今から 30 年以上前、結婚を機に新婚生活を千葉県習志野市の小さなアパートで始めました。毎朝、駅までの道沿いにある豪邸の前を「凄い屋敷だな」と思いながら通勤しておりました。山口七夕会で秋草会長と出会い、その豪邸が秋草邸である事を知って驚いた事を思い出します。私は、一人息子が二歳になる頃に駅の反対側に引っ越ししましたが、小さなアパートは豪邸の秋草邸の近所に今も残っています。

山口七夕会の本部役員会は、関 幹事長のお店である「あまね」で行っていますが、秋草会長が体調を壊されてからは、家の最寄駅が同じ事もあり、私がお付き役をしておりました。いつものことですが、役員会後の飲み会を早めに上られ、「岡本君、帰るので頼むよ。」と言われて習志野市のご自宅に帰宅されるのですが、途中途中で必ず奥様に連絡されていました。「これから岡本君と帰るので心配するな。」「今、乗り換えた。」と、乗り換え駅のたびにです。奥様への愛情の深さを感じておりました。帰りの電車の中では、いつも山口七夕会を気に掛けておられ、「今の私が会長でいいのか？」などと口にされ、本当に謙虚な方でした。私が「秋草会長の人柄で一枚岩ですよ」と申すと、そうかそうかと安心されていました。

秋草会長の人柄で、いつも人の輪が出来ていたと思います。毎年お手伝いしている「三茶でやまぐち食べちゃろ祭り」の後で山口市役所の方と交流会をした時には、最後に全員で秋草会長を中心に写真を撮影しました。本当に寂しい限りです。秋草会長のご冥福をお祈りいたします。



2025/09/13 三軒茶屋にて

『追悼と豊かさを求めて』

岡本 暁彦（会員No.491）

七夕会会員の皆様、いつも大変お世話になっております。最近の心情と近況について記させていただきます。まずは訃報に接し、心より哀悼の意を表します。

昨年のこととなりますが、会員の武内衛子様のご逝去されました。私が山口から東京に出てきた後、故山縣様の積極的なリードのもと、武内様にはいつも優しい笑顔で接していただき、温かく見守っていただきました。がんを患われて以降も幾度となく手術を乗り越えられ、お会いした際に「明日から入院予定です」と伺うこともあり、そのご様子から非常に気丈な方であったと感じております。2024年の七夕会懇親会（ルコ）では、会費の袋が見当たらない出来事がありましたが、「無くなるはずがない」と懸命に探され、見つかった際に安堵されていたご様子が印象に残っております。ご体調が優れない中でも責任感を持って行動され、常に皆のために尽くされるお姿には深い尊敬の念を抱いております。いつも変わらぬ素敵な笑顔は、決して忘れることはありません。

そして、秋草会長の訃報にも接し、深い悲しみを覚えております。私は親しみを込めて「秋草さん」とお呼びしておりました（以下同様）。

初めてお会いしたのは2017年、東急キャピタルタワーで開催された講演会でした。山口市ご出身と伺い、山口高校OBであることを知りました。ご講演「豊かさを考える」では、ドイツ駐在のご経験などを踏まえ、落ち着いた生活の重要性、多様性の価値、他者の権利を尊重する文化、そして「真の豊かさは学びによる心の豊かさである」といった示唆をいただきました。参加者が非常に熱心に聞き入っていたことが印象に残っております。

その後もご縁が続き、大手町での懇親会などで再会し、ドイツや山口の話題で大いに盛り上がりました。その際に七夕会をご紹介したところご関心を持っていただき、後に故山縣様、八木会長にご紹介し、会長に就任されました。

秋草さんは闊達で率直、常にフェアで裏表のない方でした。お話は博識で大変興味深く、特にドイツへの深い敬意が印象的でした。七夕会講演の際にはご快諾いただき、投資や金融についても分かりやすくお話しくさしました。「父から譲り受けた九州電力の株だけは持ち続けている」とのお話には、人情味を感じたことを覚えております。まだまだ思い出は尽きませんが、今も武内様たちと笑顔で語り合っておられるご様子を想像しております。

最後に私の近況です。45歳となり、学び直しのため今春より早稲田大学大学院MBAに入学いたしました。仕事と両立しながらではありますが、秋草さんのお言葉にもある「心の豊かさ」を得られるよう精進してまいります。

（謝辞：同校OBであり七夕会会員の佐久間様、奥原様には貴重なお話をいただきました。心より感謝申し上げます。）



ある日の懇親会。

秋草さん、徳山高校出身の桑原さん、平尾さんと私

山口がインバウンド誘客に本気を出すべき4つの理由

まちおこし舎 etwas 代表 貞広 貴志（会員No.911）

山口市徳地の幹線道路からちょっと奥まったところに、「超民家やまね」はある。看板や標識はなく、Google Maps でも正しく位置表示されない。遠目にはまわりの古民家と区別がつかないが、ここを目当てに欧米豪などからの観光客が電車とバスを乗り継いで押し寄せる。



この民泊を営む山根賢三郎さん・早紀さん夫妻は、2ヘクタールほどの農地を耕して自給自足を目指す暮らしをしつつ、世界からの旅人を受け入れている。民家の周りは手仕事感あふれる農地が広がり、室内の棚には趣味のいい食器が並ぶ。山根さんは、インバウンド人気の秘密を「こうした（田舎の）暮らしが実は進んだ生き方で、お客さんはそれを理解してくれている」ことだと言う。欧米豪からの日本リピーターが中心で、田園風景の中

で地元住民と触れ合ったり、山根さんの4歳と2歳の子供と遊んだりして、平均3泊ほど滞在していく。

実は今、山口県にはインバウンドで急成長するチャンスが来ている。「やまね」はその先行事例と言える。意外に思われる方も多いと思うので、意外性の大きい順に理由を4つ挙げる。

①山口県にはインバウンドで大化けする素材がある：追い風となっているのは、観光市場が「モノ消費」から「コト消費」に、観光地を巡る物見遊山からディープな体験志向へと急速にシフトしていることだ。東京や京都、大阪を一度、訪れて、日本ファンになった旅行者たちは、次はゆっくと、その土地ならではの、知られざる日本を体験できる目的地を目指す。

私自身、2月下旬に周南市・大津島で「回天基地と島の未来」ツアーをお手伝いし、体験志向の高まりを肌で感じた。この企画は、地元・周南市の高校生（4月から大学生）の椎木双葉さんが発案したもので、彼女自身が英語でインバウンド観光客を案内した。

参加者の1人は、「SNSの宣伝をたまたま見た日本通の叔父に勧められて、ツアー前日に申し込んだ」というキューバ系アメリカ人の若者アレックス君。人間魚雷・回天について何も知らなかったという彼は、ツアー後のアンケートに、「国のために命を投げ出した回天搭乗員の遺書などに、心を打たれた」と回答した。



私は昨年、44年ぶりに東京から故郷・山口県に戻って、観光を通じてまちづくりを進める個人事業を始めた。そんな「よそ者」の目には、ささる仕掛けをできる文化や歴史、食の魅力を持つスポットが県内にたくさん見える。

②交通事情が意外とインバウンド向き：県内では、やれローカル線の廃線だ、バスの減便だと、交通網について気が滅入る話題を耳にする。しかし、ことインバウンド観光に関しては、県内の交通事情には旅行者を案内しやすい面がある。

近年の規制緩和で、通訳案内士の資格がなくてもローカルガイドとして外国人を案内できるし、二種免許がなくても自家用車で駅や空港から観光地に送迎できるようになった（ただし送迎の対価を取るのはご法度）。

最近、東京に行かれた方は、高級ホテルの前に黒塗りのアルファードがずらっと並んでいるのを目撃されたかと思う。インバウンドの二次交通は、バスではなくこうした小グループでの車移動が主流になった。要は、乗用車とガイドさえいれば、山口宇部空港から「道の駅くんくのだいち」にだって案内できる。

山口県は、山奥でもむやみに道はいいし、渋滞がない。信号もほとんどない。ついでに、国外・県外からの訪問客には、黄色ガードレールが物珍しく、緑に映える。インバウンドに快適な移動と非日常の時間を提供できる。

③立地がインバウンド誘客に絶好：観光庁統計で都道府県別の外国人延べ宿泊者数（2025年）を見ると、福岡県が7,909,710人泊、広島県が2,120,570人泊なのに対し、山口県は161,890人泊となっている。これを「隣県より遅れている」と見るのではなく、「隣県から需要を取り込める」ととらえたい。山口県には、伸びしろしかない。

山口県の観光素材が素晴らしいからと言って、現状では、地球の反対側にいるチリの人たちに、いくら「おいでませ山口へ」と連呼しても、それはなかなか厳しい。だが、われわれの明日のお客様は南米にでなく、すでに広島や福岡にいるのだ。特に、欧米豪からの観光客は、日本に10泊ほどして、現地に着いてから翌日の訪問先を決めたりする。日帰りでも一度足を運んでもらえれば、次につながる。

④インバウンド観光は成長産業：「観光産業は今や自動車産業（17.6兆円）に次ぐ第2の輸出産業」といわれる。25年の訪日旅行消費額は9.5兆円まで伸びた。域内で閉じた商取引と違い、インバウンド誘客は地域に外貨をもたらし、市場規模を広げる。宿泊から食事、土産、交通まで経済効果のすそ野も広い。若者にとってやりがいのある仕事でもある。インバウンド需要の一部でも取り込めれば、地域活性化に大きな効果をもたらす。





超民家やまねと同じ徳地に、1日1組限定のゲストハウス「Shian」を昨秋、オープンした丸本華代さんは、「ここには日本の良さが凝縮している。和紙や茶、茅葺など身近な自然を循環させて色々なものをつくっている。都会では感じられない『ザ日本』が残っている」と評する。丸本さんが関わる徳地地域資源活用ネットワークは最近、「徳地農泊」という英・日本語パンフレットを制作した。一棟貸しの民泊から和紙体験、それに日本古来のサウナの石風呂まで多彩な体験を提供している。これを手にも、知的好奇心の強い欧米豪からの旅人たちが、徳地を散策する日は遠くないかもしれない。

よく「インバウンドをやりたいのはやまやまだが、カネがないし、受け入れ体制もない」と聞く。だが政府は、インバウンド観光と地方振興に大きな予算を投じている。観光庁の2026年度の関連予算は1,383億円と、補正を含む前年度実績(804億円)の実に72%増。しかも、今年度の重点施策は、「地方誘客の推進による特定の都市・地域への集中是正と分散の推進」。今インバウンドの姿をあまり見かけない山口県は、逆に理想的な受け皿だ。カネは、東京にはある。

体制に関しては、ガイドできる人材から多国語対応の標識まで不足しているのは事実だ。私は今、

県内の観光資源に付加価値と英語通訳をつけて商品化すると同時に、外国語で案内できるローカルガイドのゆるやかなネットワークづくりに取り組んでいる。県内では地域通訳案内士の養成研修が5年ぶりに再開された。AIの進歩で言葉の壁は下がり、外国人受け入れに伴う「面倒さ」もだいぶ減じた。やる気さえあれば、誰でもインバウンド客を案内できるとさえいえる。

だが、個人の努力には限界がある。やはり、産官学がタッグを組み、地域ぐるみで取り組む必要がある。カネと体制がないことを言い訳にしている間に、外貨はさらに隣県に吸い取られる。

ここはぜひ、かのNYタイムズに、「行くべき観光地の世界第3位」と賞賛された山口市が先頭に立って、山口県のインバウンド成長を引っ張ってもらいたい。観光施設「重源の郷」が、気づけば予約のとれない人気スポットになっていた——そんな未来を、ぜひ一緒につくりましょう。

再びつながった山口とのご縁2～思い出～

樋口 敬恭（会員No.684）

3月半ばに靖国神社に参拝しました。入口正面に大村益次郎の銅像が立っています。写真の像は、新政府側に立って戦った雄姿の銅像です。大村益次郎は緒方洪庵の適塾で医学を学びながら兵学にも関心を持ち、日本の陸軍の基盤を作った人物です。第58回で大村益次郎の鑄銭司郷土館訪問について書きましたが、引き続き山口で過ごした思い出を書いてみました。



大村益次郎像

思い出：なんといっても、心に残っているのが山口サビエル聖堂です。現在残っている日本最古のキリスト教会は長崎の大浦天主堂ですが、建物として残っていないものの、日本で最初にキリスト教の教会が建てられたのは山口とされています。キリスト教が布教されたのは、今から約500年前のことです。現在の聖堂がその歴史を受け継いでいるのだと思うと実に感慨深いです。山口大学在学中に山口市内に4年間住みました。最初は、石観音町、次に泉都町、そして最後は鰐石町。1) 石観音町：駅は上山口駅に近く、大学まで約5キロありましたので自転車で通学。下宿先は、一軒家の8畳一部屋を借りました。風呂は銭湯です。大学は遠かったのですが、香山園は近かったので、散策コースでした。香山園には国宝瑠璃光寺五重塔が建っており、昨年リニューアル工事が終わった姿を写真で見ても走馬灯のように学生の頃を思い出しました。2) 泉都町：風呂無共同トイレのアパートに引っ越して、歩いてすぐ近くに映画館がありました。今はもう映画館は無くなってしまったようですが、休みの前にはオールナイトで2本立てを上映していました。映画を見ながら都会への憧れ抱いた青春の日々でした。3) 鰐石町：4年になり、鰐石町へ。山口線が目の中の家の離れの部屋を借りました。榎野川も近く風光明媚な景色に癒されました。土日にはSLが走るのを間近に見ることができ家の前を過ぎると汽笛を吹いていたのを覚えています。また風呂は大家さんの風呂を借りていました。今では考えられないような温かい人間関係でした。青春の貴重な4年間を山口で過ごしました。

出会い：七夕会は、山縣さんや梶山さんとの出会いをきっかけに入会しました。大学時代は友人との出会いがあり、恩師との出会いもあり、卒業後も関係が続いています。恩師は、山口大学名誉教授の畑地正憲先生です。毎日が仕事中心であった頃、「風蕭々とふきて易水寒く壮士一たび去ればふたたび還らず」の書をいただきました。そして現役を退いた今、再びお会いした際にいただいた書が、「福寿海」です。福寿海の意味は、幸せと長寿が満ちる海のことです。福寿海の言葉を心に刻み、これを目標として日々を大切に過ごしていきたいと思えます。先生と山口の地でめぐり逢えたことはまことに幸せなことです。



萩焼茶碗と大内塗のお箸

大内塗のお箸：山口の特産品である漆器、大内塗の箸は毎日使っています。写真の箸は、七夕会の抽選で当たったものです。一組だったので、私だけでは申し訳なく、家内の分は、自分で買い求め、夫婦で毎日使っています。大内塗の箸を手にするたびに山口のご縁をしみじみ感じています。

ストリートピアノとのコラボイベント

岡崎 龍也（会員 No. 702）

令和7年12月14日、東京都北区で区民の文化芸術活動を応援する施設「ココキタ」で、ストリートピアノと山口七夕会のコラボイベントを開催しました！

ストリートピアノは大学で教鞭をとる武藤正義さんが主催し、地域の交流を生む場として北区を中心に開催しています。アートフェスティバル「ココキタまつり」に毎回参加しており今回は4回目になります。武藤さんは評議員の関周さんと交流があり、山口七夕会では1回目から協賛しコラボイベントを行っています。

ストリートピアノは小さなお子様から大人まで気軽に参加でき、スタジオに設置されているグランドピアノを自由に演奏するものです。

山口七夕会では特設ブースを設置し、ピアノを弾かれた方に山口市ゆかりの品をお渡ししています。今回は、湯田温泉産「ゆだうるるフェイスマスク」を先着20名の方にプレゼントしました。これまで3回のストリートピアノでは「山口銘菓 大内もなたん」「大内塗の長寿箸」「化粧ミスト ゆだうるる」を提供し山口市をPRしてきました。

当日は雨の降る寒い一日となりましたが、総勢50名以上がピアノを演奏しました。お1人目の女性は演奏後「私、山口に関心があり、ぜひ行ってみたいんです！」と話され「ゆだうるる」を大変喜んでいました。受け取られた皆さんに好評だったようです。藤井副会長、関評議員が参画し山口七夕会から地域に向け情報発信しました！



山口七夕会のフラッグを背景にグランドピアノで演奏♪
武藤教授もジョイント！



山口七夕会特設ブース



特別な日のお手入れに
ゆだうるるフェイスマスク

吉田未加さん Live に行ってきました！

岡崎 龍也（会員 No. 702）

2026年3月10日、下北沢 BASEMENTBAR で開催された、山口七夕会幹事の吉田未加さん（会員 No. 842）出演の Live 『Paces』に行ってきました！

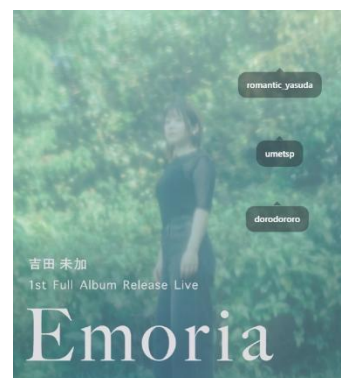
吉田さんは、千葉県香取市出身。幼少期よりフォーク、ポップス、ミュージカル音楽、合唱などに触れ育ちました。社会人となってからは、医療の道に進み看護師として勤務していましたが、コロナ禍をきっかけに 2020 年からオリジナル楽曲の制作を開始、2021 年に配信シングル「フーセン」でデビューしました。

2024 年からバンド・セットでの活動をスタートし、1st EP『処方』を同年4月17日、1st Digital Single「風」を11月20日にリリース、2025年10月8日には1st Album『Emoria』をリリースしました。『Emoria』は自身の作詞・作曲した作品に加えミュージシャンの Romantic 氏の作品も収録されており、主に関周さん（山口七夕会評議委員）のミュージカントアマねでのリハーサル練習を経て、レコーディングに臨み完成しました。

当日は3月とはいえまだ肌寒い日でしたが、会場内は大勢の若い人たちの熱気であふれていました。吉田さんは2組目に登場、『Emoria』収録の曲を中心に「Baby Step」「Inside of You」「風」などを歌い、透明感のある優しい歌声で会場を魅了しました。本日のバンド・メンバーは吉田未加（vo,key）、小林弘昂（g）、竹綱健（b）、タイチサンダー（d）、新たなメンバーでは初めての Live となりましたが、息もピッタリの素晴らしい演奏でした。

吉田さんは、現在東京都内のライブハウスを中心に、鍵盤での弾き語りとバンド・セットの両方で活動中です。応援しましょう！今後の Live 予定は吉田未加 Official Site <<https://mikayoshida23.com/>>をご覧ください。

《吉田未加さんより山口七夕会の皆様に一言》山口県出身ではありませんが、ご縁で出会えた七夕会の情報発信担当として、今後 SNS 運用に尽力していきたいと思っております！宜しくお願いいたします！



2026.3.10 Shimokitazawa BASEMENTBAR

春の桜ウォーキング2026（護国寺、東京カテドラル、椿山荘、早稲田大学、高田馬場）
本部・副本部長 岡本 達也（会員No.670）

2026年の東京桜ウォーキングは3月28日(土)晴天の中で護国寺、東京カテドラル聖マリア大聖堂、椿山荘、大隈記念講堂を巡り、20名の参加で行いました。

メトロ護国寺駅に集合して護国寺の桜からスタートし、早稲田大学界隈をウォーキングした後、高田馬場まで歩きゴールというルートを設定しました。



【図-1 桜ウォーキング 2026 コース】



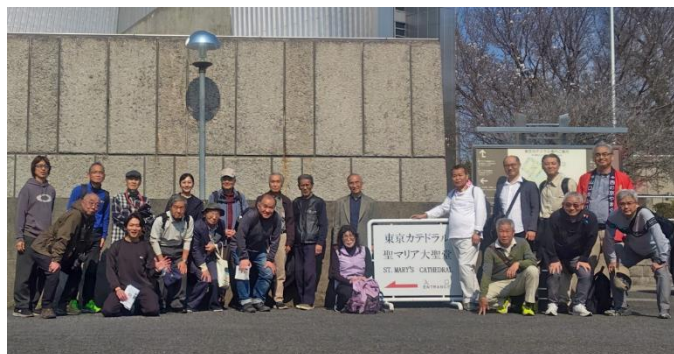
【写真-3 護国寺の桜】



【写真-4 ウォーキング風景】

●東京カテドラル聖マリア大聖堂

1887年にこの地に開かれた聖母仏語学校の付属聖堂が始まり。後に関口教会となり、木造ゴシック式の聖堂が建てられましたが、東京大空襲で焼失。現在の大聖堂は1964年、丹下健三の設計で建築されました。ステンレス・スチール張りの外装、内部に柱が1本もない造りがユニークでした。ここで皆様方は少し休息しました。



【写真-5 東京カテドラル聖マリア大聖堂】



【写真-1 メトロ護国寺駅集合(スタート)】

●護国寺

真言宗豊山派大本山のお寺で、五代将軍徳川綱吉の母である桂昌院の願いにより創建されました。



【写真-2 護国寺】

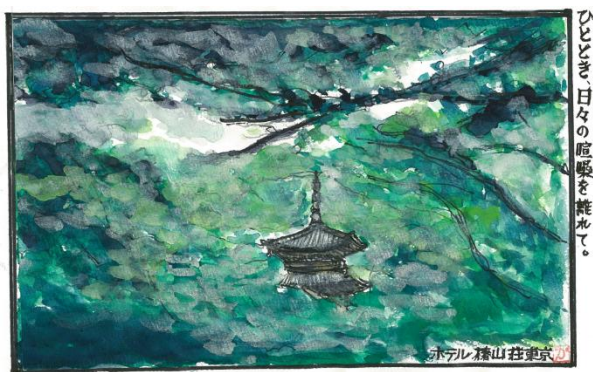
参加者には、山根和幸さん(やまねこ画伯)が居られましたので、いつものように数枚、ウォーキング絵を描いていただきました。



【絵-1 東京カテドラル聖マリア大聖堂(やまねこ画伯)】

●椿山荘と神田川

元勲の山縣有朋が1878年(明治11年)に旧屋敷を購入し、「椿山荘」と命名して趣味である作庭を行いました。ホテル椿山荘東京は四季折々の庭園とともに結婚式などのお祝いで有名です。当日は大安吉日で多くの結婚式が執り行われていました。



【絵-2 椿山荘(やまねこ画伯)】



【写真-6 神田川の桜】

●大隈記念講堂

早稲田大学と言えば、大隈記念講堂と大隈重信像。



【写真-7 大隈記念聖堂】

●交流会(1次会)

早稲田まで全員で満開の桜の中完歩しました。早稲田と言えば高田馬場です。1次会はつつじ通りの「マルハチ」でした。



【写真-8 「マルハチ」@高田馬場(つつじ通り)】

●交流会(2次会)

ほぼ脱落者なく、そのまま2次会に。早稲田の学生で知らない人はいない「清龍」でメました。



【写真-9 「清龍」@高田馬場(さかえ通り)】

＜ 新入会員(個人会員番号・氏名)及び法人会員の皆さん ＞

《令和8年1月号掲載以降の新入会員》 ※氏名、住所は公開会員名簿への掲載承諾者のみ

会員番号	氏名	住所	法人会員
911	貞広 貴志	山口県周南市	山口日産自動車株式会社
913	西岡 努	神奈川県横浜市	旭水産有限会社
914	金丸 真由美	山口県山口市	株式会社 常盤
915	柿沼 瑞穂	山口県山口市	株式会社 技工団
916	安村 弘	山口県山口市	有限会社 劇団角笛
917	中原 泰子	山口県山口市	マルシフードサービス株式会社
918	伊藤 馨	山口県山口市	社会福祉法人青藍会
919	木下 祐介	山口県山口市	株式会社セブンシステム
920	大下 元	神奈川県藤沢市	株式会社ベルミューズ
921	芳西 崇	山口県山口市	一般社団法人日本自動車連盟山口支部(JAF 山口支部)
922	中藤 晶子	山口県山口市	BRAIN SIGNAL 株式会社
923	野村 和造	神奈川県横浜市	弁護士法人 末永法律事務所
924	城戸 千賀子	山口県山口市	株式会社アドギルド・ジャパン
			公益社団法人 山口被害者支援センター
			株式会社 小郡衛生公社
			株式会社 エフエム山口東京支社
			株式会社 竹内酒造場
			C & C 山口
			湯田温泉旅館協同組合
			公立学校共済組合山口宿泊所 セントコア山口
			株式会社 クリエイティブ・トゥエンティワン
			株式会社 エボリューション
			有限会社 船方総合農場

令和8年6月15日現在の会員数：個人会員393 法人会員23

イベント等のお知らせ

< あいगतう秋草さんメモリアルパーティー（本部） >

- 日時：令和8年8月8日（土）12:00～15:00
 - 場所：別邸 福の花（東京都港区浜松町2-2-6）
 - 会費：6,000円
- ※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

< 総会 & 夏の講演・交流会（ふるさと山口本部） >

- 日時：令和8年8月22日（土）18:00～21:00
 - 場所：セントコア山口（山口市湯田温泉3丁目2-7）
 - 講師：日下 信次 氏（永山酒造 杜氏）
 - 演題：「日下無双」誕生の秘話
 - 会費：9,000円（非会員は+500円）、講演会のみは1,000円
- ※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

< 令和8年度山口七夕会年次総会(予定) >

- 開催日：令和8年10月31日（土）
 - 場 所：インテリジェントロビー・ルコ（東京都新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル1F）
- ※詳細は、次回会報でお知らせします。

<山口市役所より>

「山口デスティネーションキャンペーン(DC)」の開催について



平素から、山口七夕会の皆様におかれましては、本市の観光振興に多大なる御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

本年10月から12月の期間、山口県で「山口デスティネーションキャンペーン(DC)※」が開催され、本市におきましても、DC期間限定の特別コンテンツやイベントが実施されます。ぜひ、お越しください。
 ※デスティネーションキャンペーン(DC):自治体とJRグループが地域一体となって観光を盛り上げる大型観光キャンペーン。

山口市における主なコンテンツ・イベント



山口DCオープニングイベント・SL出発式

(10/3 於:新山口)



国宝瑠璃光寺五重塔の秘仏を御開帳
静寂の特別拝観体験



やまぐち まち歩きガイドツアー



常栄寺雪舟庭 秋のライトアップ
～光で描く雪舟の世界～



時を超えてよみがえる 歴史絵巻將軍体験ツアー

山口DCについては
山口県観光/旅行サイト「おいでませ山口へ」
を御確認ください。



山口市交流創造部 観光交流課
 《tel》083-934-2810
 《E-mail》kanko@city.yamaguchi.lg.jp

< **会報山口七夕会への投稿を募集します** >

1. **大使の一言**(「山口七夕ふるさと大使」の皆さんの自己紹介記事やメッセージ)
2. **私の一言**(会員の皆さんの自己紹介記事やメッセージ)

★テーマの一例

- (1) 山口市に関する豆知識
- (2) 山口県外にある山口ゆかりのものや活動
- (3) 今、思っていること

★字数

1,200 字程度の文章と写真 2 枚程度を基準。紙面構成上、フォント、行間等を調整します。

★投稿締切

1月号(12月中旬まで)、6月号(5月中旬まで)、9月号(8月中旬まで)、

★投稿提出先

下記に電子データ(Word形式)でお送りください。

会報山口七夕会編集長(西村 弘文):joe-levin01@outlook.jp

< **本部役員を募集しています** >

本部(東京)では、役員を募集しています。

少ない力を集め、無理なく継続的な運営をしていきたいと考えています。我々と一緒に山口の良さをアピールしたい、新しい企画を創造して山口七夕会を盛り上げていきたいという方は、本部長代行の西村までご連絡ください。

連絡先 : joe-levin01@outlook.jp

<< **重要** >> < **公開会員名簿への掲載承諾のお願い** >

会員相互の交流促進や会の活性化に役立てばと、記載事項を限定した「公開会員名簿」を作成・発行しました。作成に当たっては、名簿への記載についての承諾を必要としておりますので、趣旨に賛同していただける方は、記載を承諾する旨を下記まで連絡願います。

「公開名簿で懐かしい名前を見つけて交流が再開した」といったことになればと考えています。

記

メールの場合 : seki@8011.jp (関周宛)

郵送の場合 : 〒114-0034 北区上十条 3-3-16 関周宛

《重要》< メールアドレス登録のお願い >

山口七夕会はライブや各種イベント、ウェブ抽選会など「新しい企画」にどんどん取り組んでいきます。

新しい企画はメールを主用してご案内していきますので、メールアドレスの登録をお願いします。登録されたメールアドレスの中には送信不能のアドレスがあります。

既に登録されている方も確認のため再度登録をお願いします。

【登録方法】

- QRコードリーダー付きのスマートフォンから登録される方は、右のQRコードを読み込んでください。
- パソコンから登録される方は、本文にご自分のメールアドレスを入力して、「seki@8011.jp」にメールを送信してください。



【事務局からのご案内】

- ◎転居されるご予約のある方は…転居予定日、転居先を任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。(ご連絡がないと会報や市報等の資料が届かなくなってしまう)
- ◎退会を希望される方は…退会されるのは残念ですが、任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。(会員録の整理などの事務手続に必要となります)
- ◎会の運営等に関するご意見があれば下記までお寄せください。

★事務局(山口市企画経営課内) 〒753-8650 山口市亀山町2番 TEL 083-934-2746
kikaku@city.yamaguchi.lg.jp

【編集後記】

3月に秋草会長がお亡くなりになりました。令和3年から一緒に活動してきましたが、残念でなりません。衷心よりご冥福をお祈りします。会報にはたくさんの追悼文が寄せられましたが、秋草さんのお人柄なればこそと思っています。

会報は「会長挨拶」から始まりますが、秋草さんはいつも提出期限ぎりぎりに入稿されていました。理由は、最新の情勢を入れ込みたいから。時宜の情勢を織り込みつつ、七夕会の運営に対するお考えを示されていました。前1月号の記事をお願いした際には、「入院中だけど、パソコンを打つくらいの体力はあるから、大丈夫。期限までに送るよ。」との返信がありました。会への思いを感じる逸話です。

秋草さんのお考えは、「フラットな会」、「楽しい会」、「山口市への貢献」であったと認識しています。役員会に毎回出席され、役員と意見交換しながら会の運営方針を考えておられました。また、令和23年2月に行った新企画「ウキウキ抽選会」ではプレゼンターを務め、「ストリートピアノ」では奥様と来場してピアノ演奏を披露する等、七夕会ひいては山口市の認知度を高めるイベントを積極的に取り上げていただきました。

任意の愛郷団体であるとの認識の下、役員には決して無理を言わず、楽しく活動が続けながら山口市への寄与に取り組む秋草さんの姿勢と、役員の一休感を感じた4年半でした。ありがとうございました。

機関誌編集長 西村 弘文